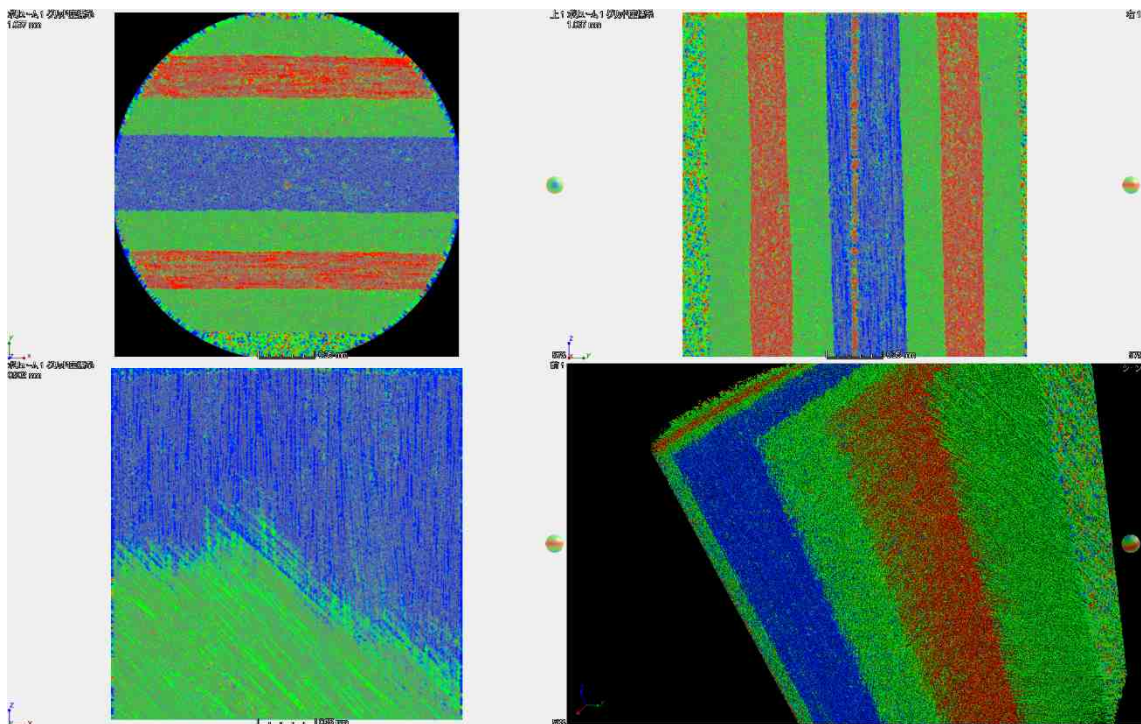


# 第四章



X線CT装置による CFRP の繊維配向解析

(撮影:千葉県産業支援技術研究所)

# 歴代会長



初代会長

石橋 泰雄

[1981(S.56)-1984(S.59)]



第2代会長

丹羽 登

[1985(S.60)-1997(H.9)]



第3代会長

星川 洋

[1998(H.10)-2000(H.12)]



第4代会長

白井 越朗

[2001(H.13)-2005(H.17)]



第5代会長

岸上 守孝

[2006(H.18)-2008(H.20)]



第6代会長

藤盛 紀明

[2009(H.21)-2015(H.27)]



第7代会長

小井戸 純司

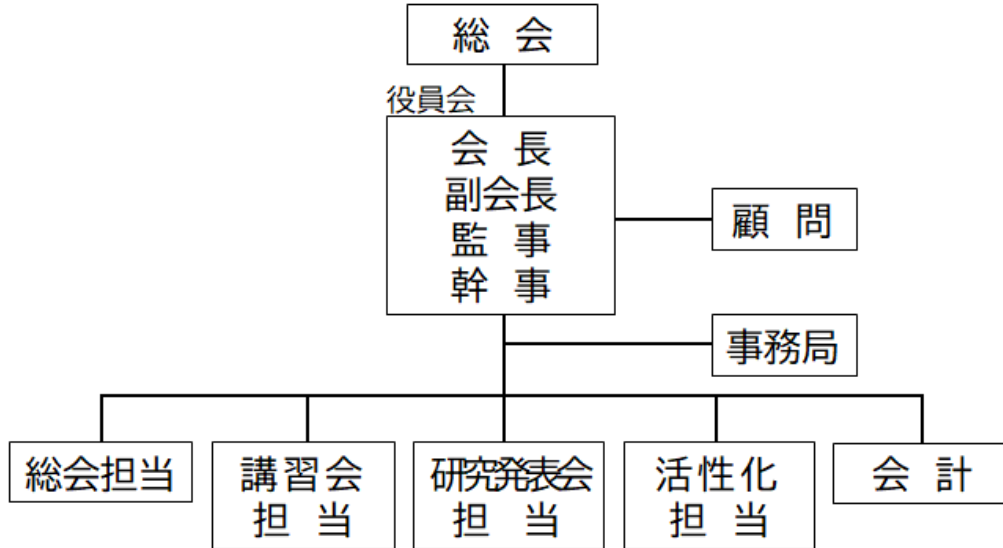
[2016(H.28)-]

## 千葉県非破壊検査研究会の組織

## 創 立

1981年(S.56)5月23日

## 組 織



## 役 員 (令和4年11月現在)

会 長	小井戸 純司	日本大学名誉教授	
副会長	山田 満	千葉県産業支援技術研究所	
顧 問	白井 越朗	元 千葉県機械金属試験場	
顧 問	岸上 守孝	元 石川島播磨重工業(株)	
顧 問	藤盛 紀明	NPO 国際建設技術情報研究所	
幹 事	相村 英行	栄進化学(株)	監事・講習会担当
幹 事	守井 隆史	日本検査(株)	監事・講習会担当
幹 事	高橋 厚志	(株)ダンテック	会計
幹 事	立川 克美	立川NDTテクノ	会計・講習会担当
幹 事	熊谷 安紘	新日本非破壊検査(株)	総会担当
幹 事	小松 伸行	日鉄テクノロジー(株)	研究発表会担当
幹 事	小山 潔	日本大学生産工学部	研究発表会担当
幹 事	安齊 勝昭	東亜非破壊検査(株)	活性化担当
幹 事	高橋 英司	JFE大径鋼管(株)	活性化担当
幹 事	小林 正和	協同組合千葉県鐵骨工業会	

## 千葉県非破壊検査研究会会則

制定	昭和56年	5月23日
改正	昭和59年	4月 1日
改正	昭和61年	4月16日
改正	平成 3年	6月25日
改正	平成10年	7月17日
改正	平成12年	7月11日
改正	平成15年	7月 4日
改正	平成28年	7月12日
改正	平成28年	7月21日
改正	令和 元年	7月29日

<b>(名称)</b>	
第 1条	この会は、千葉県非破壊検査研究会という。
<b>(目的及び事業)</b>	
第 2条	この会は、会員相互の非破壊検査技術の向上と、情報交換、および親睦交流を図ることを目的とする。
第 3条	この会は、第2条の目的を達成するために次の事業を行う。 (1) 研究発表会 (2) その他前条の目的を達成するために必要な事業
<b>(所在地)</b>	
第 4条	この会は、所在地を千葉県産業支援技術研究所（千葉県千葉市稲毛区天台6丁目13番1号）に置く。
<b>(事務局)</b>	
第 5条	この会は、会員相互の情報交換の推進を支援するため、事務局を千葉県産業支援技術研究所に置く。また、会計事務を統括する会計事務局を、株式会社ダンテックに置く。
<b>(会員)</b>	
第 6条	この会は、次の会員をもって構成する。 (1) 法人会員 この会の目的に賛同し、千葉県内に事業所を有する団体又は、千葉県内に現住所を有する個人が所属する団体、及び役員会の承認を得た団体。 (2) 個人会員 この会の目的に賛同し、千葉県内の事業所に勤務する者、又は千葉県内に現住所を有する者、及び役員会の承認を得た者。 (3) 名誉会員 この会に特に功労のあったものの中から役員会の議を経て総会の承認を得た者。 (4) 特別会員 この会の運営に対して積極的指導を受けるために、役員会の議を経て総会の承認を得た者。
第 7条	会員は、退会届を提出することにより、任意に随時退会できる。
第 8条	会員は、次のいずれかに該当するに至ったときは、その資格を喪失する。 (1) 会費の納入が継続して3年以上なされなかったとき。 (2) 死亡し、若しくは失踪宣告を受け、又は法人である会員が解散したとき。

(役員及び職務)

- 第 9条 この会に、次の役員を置く。
- (1) 会長1名
  - (2) 副会長1名
  - (3) 事務幹事若干名(担当幹事を含む)
  - (4) 会計幹事1名及び会計補佐幹事1名
  - (5) 監事2名
2. 前項に定める役員は、総会において、会員の互選により会員のなかから選任する。
- 第10条 この会の事務局は、次の職員を置くことができる。
- (1) 事務局長1名
  - (2) 書記 若干名
2. 事務局長は事務局を統括する。
- 第11条 会則第9条に規定する役員は役員会を構成し、この会則で定めるところにより、職務を執行する。
2. 会長はこの会を代表し、この会の運営を総括する。
  3. 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、または欠けたときは、その職務を代行する。
  4. 事務幹事は会長を補佐し、会務を処理する。担当幹事は、役員会において定めたるところの業務を分担執行する。
  5. 会計幹事はこの会の会計を処理する。会計補佐幹事は会計幹事を補助し、会計幹事に事故あるときは、その職務を代行する。
  6. 監事はこの会の業務および会計を監査し、監査報告を作成する。
  7. 役員会は、総会に次ぐ決議機関であって、緊急を要する諸事項を協議し、実施することが出来る。ただし、これを次回の総会において報告し、承認を得るものとする。
- 第12条 役員は、選任後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する総会の終結時までとし、再任を妨げない。
2. 補欠として選任された役員は、前任者の任期の満了までとする。
  3. 役員は、第9条に定める定数に足りなくなるときは、任期の満了、又は辞任により退任した後も、新たに選任された者が就任するまで、役員としての権利・義務を有する。

(会費)

- 第13条 会員は、次の区分により、毎年2月末日までに、次年度の会費を指定口座に納めるものとする。
- ただし既納の会費は、いかなる理由があってもこれを返還しない。会長、副会長、名誉会員、特別会員及び事務局職員は会費の納入を免除する。
- (1) 法人会員 1口 5,000円とし 1口以上
  - (2) 個人会員 1口 2,000円とし 1口以上

(総会)

- 第14条 総会は、すべての会員をもって構成する。
- 第15条 総会は、この会の運営に必要な事項について決議する。
- 第16条 総会は、通常総会として毎事業年度の終了後に1回開催するほか、必要がある場合に臨時総会を開催する。
- 第17条 総会は会長が招集する。
2. 総会員の3分の1以上が必要と認められた時は、会長に対し臨時総会の招集を請求することが出来る。

3. 会長は、前項の規定による請求があったときは、臨時総会を開催しなければならない。

第18条 総会の議長は、会長がこれに当たる。

第19条 総会における議決権は、次のとおりとする。

- (1) 法人会員 1個
- (2) 個人会員 1個
- (3) 名誉会員 1個
- (4) 特別会員 1個

第20条 総会は、総会員の議決権の過半数を有する会員が出席しなければ成立することができない。

2. 総会の決議は、出席した会員の議決権の過半数をもって行う。
3. 前項の規定にかかわらず、次の決議は、出席した会員の議決権の3分の2以上に当たる多数をもって行う。
  - (1) 役員 の解任
  - (2) 会則 の変更
  - (3) 解散

第21条 会員は、議決権行使書面に記載すべき事項を電磁的方法により本会に提供し、議決権の委任ができる。

**(事業計画及び会計)**

第22条 この会の会計年度は毎年4月1日から翌年3月31日までとする。

第23条 この会の会計は次の会費及び寄付金によって運営する。

- (1) 会費 (法人会員費、個人会員費)
- (2) 寄付金

第24条 この会の事業計画及び収支予算は、事務局及び会計幹事が作成し、役員会の承認を得た上で、通常総会の承認を得なければならない。

第25条 この会の事業報告及び決算については、毎事業年度終了後、事務局及び会計幹事が作成し、監事の監査を受け、役員会の承認を受けなければならない。

2. 前項の承認を得た書類を通常総会に提出し、承認を得なければならない。

**(役員及び事務局の損害賠償責任、免除)**

第26条 役員及び事務局は、善良なる管理者の注意をもって、その職務を行わなければならないが、その任務を怠ってこの会に損害を与えた場合には、この会に対し、その損害を賠償する責任を負う。

2. 役員及び事務局の賠償責任については、役員及び事務局が職務を行うにつき、善意で重大な過失がなく、その原因や職務執行状況等の事情を勘案して特に必要と認められる場合には、役員会の決議により免除することができる。

**(要領)**

第27条 この会は、会則に基づく本会の運営等に関して、必要に応じて要領を定めることができる。

2. 前項による要領の制定、改正及び廃止については、役員会でこれを決定する。

**(附則)**

第28条 この会則は令和元年7月29日より施行する。

# 千葉県非破壊検査研究会要領

施行 平成28年7月12日

第1条	この要領は、千葉県非破壊検査研究会会則(以下「会則」という。)第27条の規定により、この会の運営等に関する事項を定めることを目的とする。
<b>(副会長及び事務局長)</b>	
第2条	会則第9条第1項(2)に規定する副会長は、千葉県産業支援技術研究所(以下「産技研」という。)の所長が務めるものとする。
第3条	会則第10条第1項(1)に規定する事務局長は、産技研の材料技術室長が務めるものとする。
<b>(担当幹事及び運営会議)</b>	
第4条	この会は、行事を運営するため次の担当幹事を置く。 (1) 総会担当 2名程度 (2) 研究発表会担当 2名程度 (3) 講習会担当 2名程度 (4) 活性化担当 2名程度 2. 前項に定める担当幹事は、役員会において役員の互選により幹事のなかから選任する。なお、担当幹事の役職は兼務することができる。 3. 担当幹事及び会計幹事は、当該事業の企画立案及びその実行に全責任を負う。また担当幹事は事務局と綿密な協議を行わなければならない。 4. 担当幹事の任期は、選任後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する総会の終結時までとし、再任を妨げない。 5. 補欠として選任された担当幹事の任期は、前任者の任期の満了までとする。 6. 担当幹事は、第4条に定める定数に足りなくなるときは、任期の満了、又は辞任により退任した後も、新たに選任された者が就任するまで、役員としての権利・義務を有する。
第5条	運営会議は、第4条1項に規定された担当幹事、会計幹事、監査幹事及び事務局をもって構成される。 2. 前項に定める運営会議は、4半期毎に開催し、年間事業計画、予算案、事業進捗、年度末報告の他、この会の運営について協議する。
<b>(会計)</b>	
第6条	会計幹事は、各事業の実施に必要な資金をあらかじめ担当幹事に前払いするか、あるいは後日精算するものとする。(ただし商社経由のものは会計担当の幹事からの振込とする。)
<b>(事務局の業務)</b>	
第7条	事務局の業務は、次のとおりとする。 (1) この会の会員名簿及びメールアドレスの管理に関すること。 (2) この会のホームページの管理に関すること。 (3) 第5条に定めた運営会議及び第4条2項に定めた担当幹事との協議に関すること。 (4) 総会議案書の作成に関すること。 (5) 役員会及び運営会議の招集に関すること。 (6) 総会の議事運営に関すること。 (7) 各事業担当幹事への支援に関すること。
<b>(附則)</b>	
第8条	この要領は平成28年7月12日より施行する。

# 会員名簿

令和5年6月1日現在（五十音順）

## 1. 大学等

NPO 国際建設技術情報研究所  
 日本大学 生産工学部 機械工学科  
 日本大学 生産工学部 建築工学科  
 日本大学 生産工学部 電気電子工学科

## 2. 特別会員

N・D・E フォーラム社  
 (株)鋼構造出版  
 産報出版(株)

## 3. 個人会員の所属企業

(有)アクトエイションハート 検査技術研究所(株) (株)三友 (株)ジャスト 信明ゼネラル(株) 立川INDTテクノ (株)ダンテック (株)東京テクノロジー	(有)東総検査事務所 那須電機鉄工(株) 日鉄ボルテン(株) 日本検査(株) 日本試験検査(株) 日本非破壊検査(株) パルステック工業(株) FUT研究所
---	---

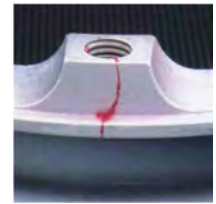
## 4. 法人会員

(株)アイ・エム・シー (有)アクトエイションハート (株)イズミテック 栄進化学(株) エース・エンジニアリング(株) (株)エビデント (株)ケイエムプラン (株)検査技術研究所 JFE大径鋼管(株) JFEテクノリサーチ(株) ジャパンプローブ(株) ダイヤ電子応用(株) 太陽日酸ガス&ウエルディング(株) (協)千葉県鐵骨工業会	電子磁気工業(株) 東亜非破壊検査(株) 東京イメージ検査工業(株) (株)東京エネシス 日鉄テクノロジー(株) 日本 ITeS(株) 日本工業検査(株) 日本溶接構造専門学校 東日本工業検査(株) ポニー工業(株) (株)三井E&Sテクニカルリサーチ ヨシザワLA(株) 菱電湘南エレクトロニクス(株) (株)レイソニック
--	---



栄進化学株式会社

会員名又は連絡担当者	参事 相村英行
住所	〒277-0871 千葉県柏市若柴 6-283
電話番号	04-7131-0911
FAX	04-7131-5799
E-mail	aimura@eishinkagaku.co.jp
URL	https://www.eishinkagaku.co.jp



おかげさまを持ちまして、栄進化学は2022年に創立から65年を迎えました。

これからも、「素材を、製品を、そして環境を守る。」をモットーに、最新の規格に適合し、使う人の安全や環境に配慮した高性能で信頼性の高い探傷剤、探傷機器・装置をお届けして、社会の安全・安心に貢献して参ります。

営業品目

- 染色浸透探傷剤「レッドマーク」
- 蛍光浸透探傷剤「ネオグロー」
- 磁粉探傷剤「マグナトロン」
- 浸透探傷・磁気探傷装置
- ブラックライト、各種試験片
- 超音波探傷器・探傷システム
- その他、非破壊検査機材



www.eishinkagaku.co.jp

株式会社エビデント

連絡担当者	産業機器営業 検査機器営業 東日本 NDT 営業 野田康史
住所	東京都新宿区西新宿 2-3-1 新宿モリス
電話番号	03-6901-9390
FAX	03-6901-4914
E-mail	yasushi.noda@evidentscientific.com

オリンパスは科学事業を分社することといたしました。新会社である株式会社エビデントは、100年以上の歴史を持つオリンパスの科学事業を継承し、これまで以上に産業における幅広い分野での社会貢献を実現していきます。



これまでも私たちは石油化学プラントや発電所、航空機などのインフラストラクチャーのメンテナンスや最先端の自動車や電子機器の製造開発など幅広い分野で、顕微鏡や工業内視鏡、NDTや蛍光X線など社会にとって必要不可欠な製品やサービスを提供をまいりました。

今後はこれらの商品群にとどまらず、ロボティックやAI、IoT を活用した新しいソリューションへの投資を積極的に行い、これまで以上に幅広く社会にとって不可欠な存在となってまいります。



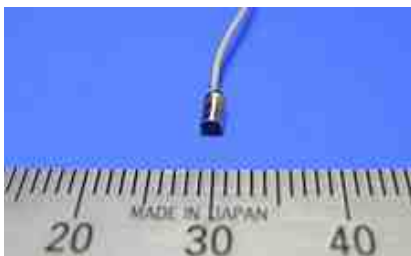
株式会社検査技術研究所

会員名又は連絡担当者	営業部 部長 関口嘉之
住所	神奈川県川崎市川崎区川中島 2-16-18
電話番号	044-277-0121
FAX	044-277-0120
E-mail	yoshiki@probe-kgk.com
URL	http://www.probe-kgk.com

『超音波センサーの専門メーカー』

高い安全性が要求される航空・宇宙産業、鉄道・自動車産業、水力・原子力発電産業、住宅・建築産業他幅広い分野の検査等に超音波探触子が利用されています。弊社は、この探触子の業界トップメーカーとして、標準探触子に限らず、ご要望に応じた特殊仕様の探触子の開発品も承ります。

世界最小「超小型垂直探触子“ちび太くん”」



- 鋼板、丸棒の探傷
- 鋼板、パイプ、タンクの厚さ測定
- 各種材料の接合部の探傷
- 鋳造品の非金属介在物の探傷
- 鋳造品の割れ・毛割れ・巣・ひけの探傷
- 車軸・クランクシャフトの疲労割れ検査
- 素材判別検査

アレイ探触子(リニア・マトリックス)



- 発電設備の保守検査(原子力発電)
- 鉄道・自動車の保守検査
- 車軸、車輪、レールの保守検査
- 航空機、宇宙機の検査
- 鉄鋼製造ライン・一般工業保守検査
- 構造物の溶接部やボルトの検査
- 複合材料の検査

是非一度ご相談下さい！

探触子の約90%はオーダーメイドでの開発品です。『ちょっと、変わったことをしたい』といったご要望にもお応えし、検査対象や形状に対応したセンサー開発をすることが弊社の強みです。

インフラ検査のロボットによる超音波探傷をお考えの方は相談ください。空中ドローンには空中超音波センサー、水中ドローンには水浸超音波センサーなどがあります。

特殊用探触子



低周波用、高温用、TOFD用、可変角、ペンシル型、ミラー反射式、小型内挿式、ローラー型、空中超音波用、セルラーPP マイクロホンその他各種探触子

- 昭和39年度:超音波探傷用標準試験片業務委託(日本非破壊検査協会)
- 平成19年度:「神奈川県優良工場」表彰
- 平成20年度:経済産業省「元気なモノ作り中小企業 300 社」選出
- 超音波センサー技術でロボット関連事業に貢献します。

産報出版株式会社

会員名又は連絡担当者	宮澤尚人
住所	東京都千代田区神田佐久間町 1-11 産報佐久間ビル
電話番号	03-3258-6411
FAX	03-3258-6430
E-mail	miyazawa@sanpo-pub.co.jp
URL	https://www.sanpo-pub.co.jp

産報出版書籍・定期刊行物のご案内

好評書籍



はじめての溶接シリーズ④  
はじめての非破壊検査

荒川 啓弘・笠井尚哉 著  
A5判 / 230 頁  
定価 2,200円 (本体価格 2,000円)

これから溶接を学ぼうとする溶接関連部門の関係者を対象とするだけでなく、技術者レベルにも対応できる内容。全章を通して、図表を多く用いてわかりやすく解説し、基本的な事柄から応用まで学べることができる。



(WES 8103 特別級1級用テキスト)  
溶接・接合技術総論

溶接学会・日本溶接協会編  
A5判 622頁  
価格: 9,350円 (本体価格: 8,500円)

JIS Z 3410 (ISO 14731) / WES 8103 対応の溶接管理技術者特別級用と1級共用のテキスト。第1章から第4章までは、溶接管理技術者にとって不可欠な共通知識をまとめている。5章では鋼構造物、6章は圧力設備の溶接設計・施工について収録。



(WES 8103 2級用テキスト)  
新版 改訂 溶接・接合技術入門

溶接学会・日本溶接協会編  
A5判 342頁  
価格: 4,125円 (本体価格: 3,750円)

JIS Z 3410 (ISO 14731) / WES 8103 「溶接管理技術者認定基準」の2級資格取得のための講習会課程に合わせて編集した溶接・接合技術の総合的な解説書。内容は、溶接法および溶接機器、金属材料の溶接性ならびに溶接部の特性、溶接構造の力学と設計、溶接施工および管理の第1~4章。



(WES 8107 主テキスト)  
新版 溶接実務入門 [増補3版]

日本溶接協会編  
A5判 378頁  
価格: 4,125円 (本体価格: 3,750円)

WES 8107「鋼構造物のアーク溶接作業指導者の資格認定基準」に基づく講習会の教本にも使用されている溶接現場第一線管理者向けの溶接実務の解説書。主な内容は、溶接指導の一般的知識、被覆アーク溶接、半自動アーク溶接、ティグ溶接、ロボット溶接、品質管理と作業管理、溶接構造物の強度と設計、非破壊試験。



溶接ニュース

年間購読 25,633円(税込) 千共

溶接を取り巻く産業界の最新動向、内外の新技術や新製品、工業材料や工業製品の生産統計、注目される話題の探訪、現場からの報告等、全国各地にわたる取材網を活かし、様々な情報を提供する毎週火曜日発行の新聞。一般社団法人日本溶接協会の機関紙でもあり、同協会の各委員会や各指定機関行事の詳細も報道。



溶接技術

1冊 1,495円(税込) 千別  
年間購読 17,939円(税込) 千共

溶接技術の向上、発展を目的に、内外各産業界のあらゆる分野における溶接・接合についての調査研究結果、最新技術情報、入門講座など豊富な記事を、毎月特集を組んで掲載する唯一の溶接技術専門誌。一般社団法人日本溶接協会の機関誌として、業界最高といえる監修委員ならびに編集委員の陣容を誇る。



検査機器ニュース

年間購読 19,506円(税込) 千共

工業材料や工業製品の品質を試験、検査する方法のうち、近年注目されている非破壊検査を取り巻く産業界の最新動向、内外の新技術や新製品、注目される話題の探訪等、様々な情報を提供する毎月5日および20日発行の新聞。一般社団法人日本非破壊検査協会や同日本非破壊検査協会の活動も詳細報道。



溶射技術

1冊 3,300円(税込) 千別  
年間購読 13,200円(税込) 千別

材料の表面改質法の中でも優れた特徴を有する溶射技術についての、研究の成果や最新情報、溶射関連機器あるいは材料の新製品など、豊富な記事を掲載する世界初の溶射技術専門誌。一般社団法人日本溶射学会が発行していた「溶射技術」の伝統を受け継ぎ、同学会が監修、学識経験に富む編集委員ならびに執筆陣を擁している。

定期刊行物

申込み先

産報出版株式会社

(ホームページ)

https://www.sanpo-pub.co.jp (最寄りの書店にない場合は、お取り寄せもできます。ホームページからのご注文もできます。)

●東京本社 / 〒101-0025 東京都千代田区神田佐久間町1-11  
TEL03-3258-6411 FAX03-3258-6430

●関西支社 / 〒556-0016 大阪市浪速区元町2-8-9  
TEL06-6633-0720 FAX:06-6633-0840

株式会社三友

会員名又は連絡担当者	代表取締役社長 阿左見卓巳
住所	378-0012 群馬県沼田市沼須町乙 642
電話番号	0278-24-3133
FAX	0278-24-5313
E-mail	<a href="mailto:taku-azami@sanyu-numata.com">taku-azami@sanyu-numata.com</a>
URL	<a href="https://sanyu-numata.com/">https://sanyu-numata.com/</a>



当社の製品は建築構造物で、建物の骨になります。

強度や耐久性などの構造的な性能と高い品質が要求されます。

もの作りのプロとして正面から向き合い、経験を活かし柔軟に取り組んでいます。私たちの工場で作られる製品は、求められる構造的な性能にとどまらず、均一な溶接面やなめらかな塗装面など見た目の仕上げにも非常に気を配っています。

当社の『もの作り』はキレイな環境でこそキレイな製品作りに結びつく信念を持ち、職場環境の掃除・整理整頓にも力を入れ取り組んでいます。

お客様が日々の生活を安心して送れるよう、『建築鉄骨製作チーム』として心・技・体を駆使し、高品質な製品を生み出していく事が私たちの役目です。

「三友」という社名には、

「1.お客様」、「2.取引先様」、「3.当社」の  
3つが輪になってこそ、よい仕事に結びつく。  
という思いが込められています。



サッカーボールを作ってみました



JFE 大径鋼管株式会社

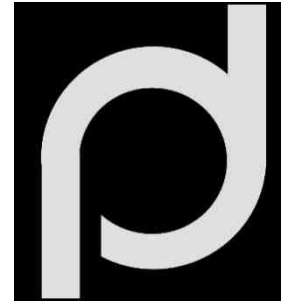
会員名又は連絡担当者	生産管理部 品質保証室 高橋英司
住所	千葉県千葉市中央区新浜町1番地
電話番号	043-262-4375
FAX	043-262-4373
E-mail	e-takahashi@jfe-steelpipe.co.jp
URL	http://www.jfe-steelpipe.co.jp/



主要製品 ・営業品目	鋼管杭・鋼管矢板・水道用塗覆装鋼管
企業概要	<p>当社は、スパイラル鋼管の製造を主力事業として、56年の歴史をもっています。業界最大級を誇るスパイラル鋼管製造設備を有しており、JFEスチールにおける唯一のスパイラル鋼管製造拠点として、港湾・橋梁・道路・高層物建築等の基礎構造物部材を供給している会社です。社会においては、皆様の生活の基礎を支える役割を担っております。</p> <p>最近の土木・建築工事における高度化・大型化に伴い、スパイラル鋼管の肉厚化・大型化が可能である当社の技術的特長点を活かし、常に最新の技術を持って、お客様からのより高度な品質へのご要求、更なる短納期のご要求に対し応えるべく、一層の改善、飛躍を目指してまいります。</p> <p>経営環境変化が著しい最近の局面におきましても、目先の問題にとらわれず、常に将来のあるべき姿を捉え、「JFEグループは、常に世界最高の技術を持って社会に貢献します。」の企業理念、「挑戦・柔軟・誠実」の行動規範に基づき、新しい発想で創造力を培い成長し続けるべく、日々邁進してまいります。</p> <p>今後共変わらぬご愛顧をお願い申し上げますと共に、ご指導、ご鞭撻を賜ります様、併せてよろしく願い申し上げます。</p>
主な沿革	<p>1967年1月 川鉄鋼管(株)設立 川崎製鉄(株)の鋼管製造会社</p> <p>1997年11月 ISO 9001の認証取得</p> <p>2003年7月 エヌケーケー一条鋼(株)千葉製造所のスパイラル事業継承</p> <p>2004年4月 JFE 大径鋼管(株)に商号変更</p> <p>2009年9月 スパイラル事業千葉(JFE 大径鋼管)集約</p>
主な 認定資格	<p>① JIS 認証規格: JIS G 3444 一般構造用炭素鋼鋼管(STK) JIS A 5525 鋼管杭(SKK) JIS A 5530 鋼管矢板(SKY)</p> <p>② 日本工業用水協会製造事業場</p> <p>③ ISO 9001</p>

ジャパンプローブ株式会社

会員名又は連絡担当者	営業・設計部 田中雄介
住所	〒232-0033 神奈川県横浜市南区中村町 1-1-14
電話番号	045-242-0531
FAX	045-242-0541
E-mail	info@jp-probe.com
URL	<a href="https://www.jp-probe.com/">https://www.jp-probe.com/</a>



得意技術

標準的な垂直、斜角などの探触子から柔軟性超音波探触子、空中超音波探触子などの特殊探触子、光音響センサや治療用集束超音波探触子、運動計測用超音波探触子等の医療向け探触子の他、コンクリート用や海底探査用など様々な分野における探触子の設計・製造が可能です。

探触子だけでなく送受信のパルスレシーバおよびその動作プログラムの開発、空中超音波検査システムの開発、超音波伝搬シミュレータによる探触子設計、波形分析も可能です。



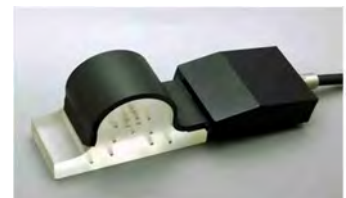
空中超音波計測システム  
NAUT21

営業品目

- ・垂直、斜角、水浸、集束、アレイ、空中用など各種探触子
- ・柔軟性超音波探触子:柔探、蝟探、曲探(アレイプローブ)
- ・光超音波センサなどの顧客の要望に応じた特殊探触子
- ・パルスレシーバ:JPR-600C(標準モデル)、JPR-50SD(高周波対応)など
- ・空中超音波計測システム NAUT21(標準モデル)、NAUT21-S(片面モデル)、NAUT21-I(空中水浸併用モデル)、NAUT21-M(高速モデル)
- ・超音波伝搬シミュレータ SWAN21
- ・探触子ケーブル、変換コネクタ



蝟探



曲探

PR 欄

垂直、斜角などの標準探触子から柔軟性超音波探触子や空中超音波探触子などの特殊探触子、光超音波センサや生体作用向けなど最新の研究までお客様の要望に応じて対応いたします。創業以来 40 年以上培った超音波の知識・経験に加え、超音波伝搬シミュレータなどの最新技術を組み合わせて、様々な探触子や計測の設計、評価が可能です。

## 信明ゼネラル株式会社

会員名又は連絡担当者	機器営業部 田中光一
住所	〒105-0004 東京都港区新橋 6-12-6
電話番号	03-3578-1351
FAX	03-3578-1354
E-mail	<a href="mailto:tanaka@sgc-ndt.com">tanaka@sgc-ndt.com</a>
URL	<a href="https://sgc-ndt.com">https://sgc-ndt.com</a>



**信明ゼネラル株式会社** は 非破壊検査機器専門商社です。

測定装置及び理学機器の販売及び卸販売が主力ですが、鉄筋継手部専用検査装置 USG-27A、USG-X の等の場合は準メーカーとしての立場となります。

業務比率は年によって凸凹ありますが、概ね下記のような比率です

ポータブル型超音波探傷器・探触子	全体の 55%
渦電流探傷器 (システム・手動)	20%
放射線透過装置・フィルム・CR 等	15%
その他の装置及び理学機器	10%

主要販売機器

**USG-X 鉄筋継手部専用器** (KJTD)

新コンセプト **USM100** Krautkramer



安定性能・ハイパワー **UI-S9** 菱電 凝縮性能 **EPOCH650** エビデント



見えないものにかたちを  
非破壊検査機器の信明ゼネラル

製品情報 Application 機器メンテナンス 会社案内 Contact 関連リンク

小さな会社ですが  
お見知りおきのほど  
宜しくお願いいたします



大陽日酸ガス&ウェルディング株式会社

会員名又は連絡担当者	技術本部 技術部 技術課 出路将也
住所	大阪府堺市中区榎葉 211
電話番号	072-236-0085
FAX	072-236-7911
E-mail	dejim.qjr@tn-sanso.co.jp
URL	<a href="https://www.tngw.tn-sanso.co.jp/">https://www.tngw.tn-sanso.co.jp/</a>

ソニコートは造船、機械、橋梁、鉄骨、化学プラントなどの各種構造物、機械部品、原材料の超音波探傷試験及び厚さ測定用の接触媒質で、精密な自動探傷から手動探傷まで幅広くご使用頂けます。

まずはどうぞお気軽にお問い合わせ下さい。 ☎ 072-236-0085



大陽日酸ガス&ウェルディング株式会社

堺支店 大阪府堺市中区榎葉 211  
TEL 072-236-0085

詳しくはホームページをご覧ください  
<https://www.tngw.tn-sanso.co.jp/>



立川 NDT テクノ

会員名又は連絡担当者	代表 立川克美
住所	千葉県稲毛区小仲台 2-1-1-3208
電話番号	043-253-7860
FAX	043-253-7860
E-mail	k-tachi@horae.dti.ne.jp
URL	



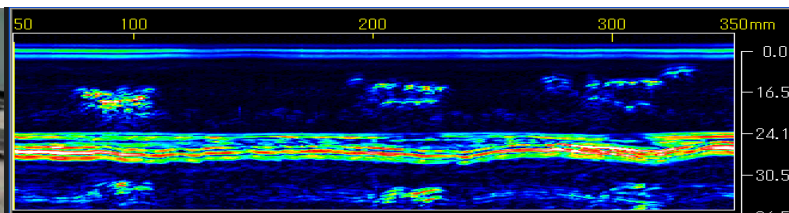
非破壊試験と溶接技術のコンサルタント

1. 超音波探傷技術に関するコンサルタント業務

- \* 溶接部、板材、鋳鍛鋼品、非鉄金属材料等への超音波探傷技術および適用規格のコンサルタント
- \* JIS G 0587, JIS G 0801, JIS Z 2350, JIS Z 2352, JIS Z 3060 等の超音波探傷に関わる日本産業規格(JIS)の解説
- \* (一社)日本非破壊検査協会規格(NDIS)に関するコンサルタント
  - ・ NDIS 2423 「TOFD 法によるきず高さ測定方法」
  - ・ NDIS 2432 「角形鋼管溶接角部の超音波探傷試験方法」
  - ・ NDIS 2433 「裏当て金付完全溶込み溶接 T 接手のルート部からのエコー判別方法」
- \* 金属構造材に発生するきずの検出性と非破壊試験の適用についてのコンサルタント
- \* 超音波探傷 TOFD 法の探傷技術に関するコンサルタント



TOFD 探傷



TOFD探傷画像

2. 溶接施工技術に関するコンサルタント業務

- \* 建築鉄骨溶接部の炭酸ガス半自動溶接に関する施工技術及び日本建築学会規準「鋼構造建築溶接部の超音波探傷検査規準・同解説」に基づく探傷技術と「たれ込み判別法」についての実務指導

## 千葉県産業支援技術研究所

会員名又は連絡担当者	材料技術室 室長 細谷昌裕
住所	千葉県稲毛区天台6-13-1
電話番号	043-252-2106
FAX	043-254-6555
E-mail	m.hsy5@pref.chiba.lg.jp
URL	<a href="https://www.pref.chiba.lg.jp/sanken/">https://www.pref.chiba.lg.jp/sanken/</a>



千葉県産業支援技術研究所は、中小企業の活性化、ベンチャー企業の創出・育成、産学官連携による新産業の創出等を目指し、そのニーズに応えるため研究・開発、技術相談・支援、依頼試験、技術情報の提供、人材育成等の支援を行っています。

私たち産業支援技術研究所では、今後も技術ニーズ・シーズを的確にとらえ、技術支援機関として地域産業技術の先導的な役割を果たすとともに、技術を仲立ちとした人や企業との結びつきを大切に、皆さんのお役に立てるよう努力していきます。

### 保有する主な非破壊検査機器

#### 高精細 X 線 CT 装置



小焦点寸法の X 線源と高精細な検出器を搭載した、高い空間分解能と密度分解能を有する工業用 X 線 CT 装置です。

LSI や小型電子部品、高分子ポリマー、樹脂成形品などの内部観察を非破壊で行うことができます。

#### 超音波映像装置



超音波探傷装置に高精度のスキャナーを組合せ、水浸法により試験体の内部および表面の欠陥を探傷し、平面画像並びに断面画像を表示させる装置です。

**無料で技術相談を行っておりますので、お気軽にご連絡ください！**

電子磁気工業株式会社

会員名又は連絡担当者	開発部 岩田成弘
住所	〒115-0051 東京都北区浮間 5-6-20
電話番号	03-5970-8681
FAX	03-5970-8680
E-mail	rd@emic-jp.com
URL	https://www.emic-jp.com/



●事業内容

非破壊検査装置、着磁・脱磁機器、磁気計測器、その他磁気応用製品の設計・製造・販売

●製品群

非破壊検査



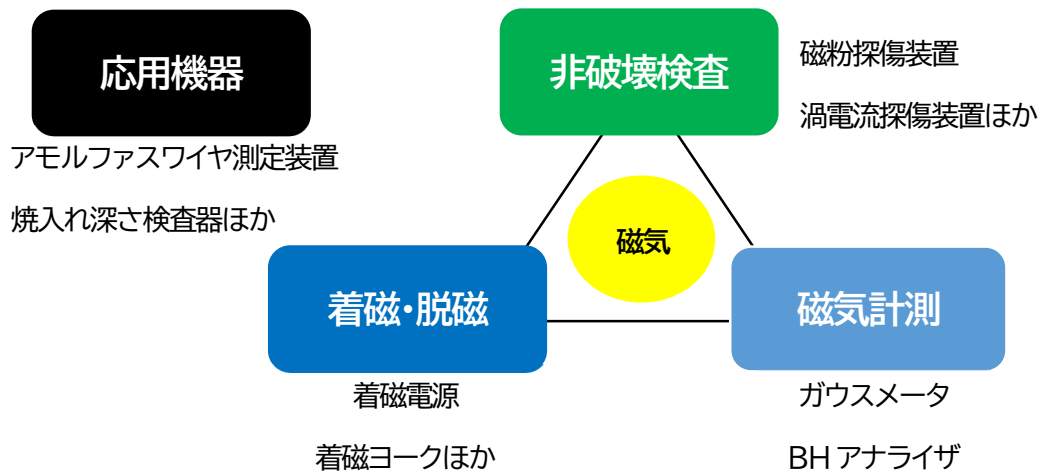
磁気計測



着磁・脱磁



応用機器



●企業コメント

電子磁気工業は1957年の創業以来、磁気の専門集団として磁気応用の幅広い分野の製品開発・製造を行って参りました。

私たちが大切にしていることは、お客様の隠れた声に耳を傾け、時代に先駆けたモノづくりに貢献することです。そして、単に製品をお届けするだけでなく、その先にある安心・安全を形にする磁気のコンサルティング企業であることです。

今後も開発型企业として最新の技術で未来を切り開き、お客様のご要望を実現して参ります。

東亜非破壊検査株式会社

連絡担当者	千葉営業所 安齊勝昭
住所	〒299-0111 千葉県市原市姉崎830-1
電話番号	0436-60-7251
FAX	0436-62-7997
E-mail	k.anzai@toandi.co.jp
URL	http://www.toandi.co.jp



東亜非破壊検査株式会社  
TOA Nondestructive Inspection Co.,Ltd.



代表取締役社長 中山 祥太郎



■ 事業所一覧



■ 検査対象



■ 種目

- 放射線透過試験
- 超音波探傷試験
- 磁気探傷試験
- 浸透探傷試験
- 渦電流探傷試験
- ひずみゲージ試験
- 漏れ試験
- 目視試験
- 金属組織試験
- 溶接後熱処理

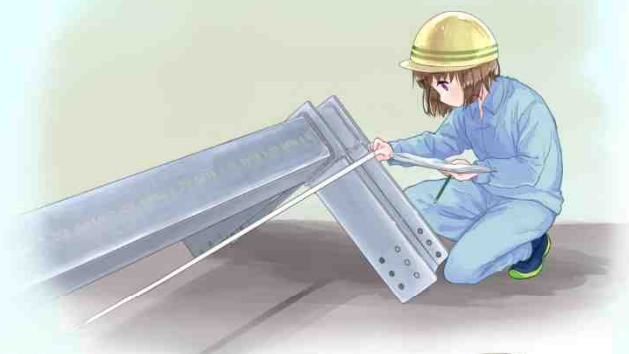
一般社団法人日本溶接技術センター

会員名又は連絡担当者	日本溶接構造専門学校 阿南睦章
住所	神奈川県川崎市川崎区本町2-11-19
電話番号	044-222-4102
FAX	044-233-7976
E-mail	office@jwsc.or.jp
URL	<a href="https://jwsc.jp/">https://jwsc.jp/</a>



# 鉄骨加工業 後継者育成授業

鉄骨関連資格取得支援  
建築鉄骨分野溶接技能実習  
ファブ関連授業  
現場見学・工場見学...



詳しくはお問い合わせください→



パルステック工業株式会社

会員名又は連絡担当者	営業部営業1課 係長 谷高弘将
住所	静岡県浜松市北区細江町中川 7000-35
電話番号	053-522-3611
FAX	053-522-3666
E-mail	h-yataka@pulstec.co.jp
URL	https://www.pulstec.co.jp/



パルステック工業は、創業当初から「研究開発型モノづくり企業」を志向し、既製品では対応困難な省力化機器や検査設備などを数多く手掛け、お客様の生産性の向上や品質向上に寄与してまいりました。

「ポータブル型 X 線残留応力測定装置」や「蛍光検出ヘッド」は、今まで培ってきた要素技術を複合することにより自社開発した製品であり、各方面から高い評価を得ています。



X 線単結晶方位測定装置 (s-Laue)



非接触硬さムラスキャナ (muraR)



ポータブル型 X 線残留応力測定装置 (μ-X360s)



レンズユニット波面計測システム (LUCAS)



高速波面センサ (PWS-500/PWS-1000)

解決困難な課題、特注設備、共同開発、技術者派遣などお客様のニーズに合わせ、最適な解決策をご提案いたしますので、お気軽にお問合せください。

菱電湘南エレクトロニクス株式会社

担当部署	検査計測営業部 市川 英
本社住所	神奈川県鎌倉市山崎 25 番地
電話番号	0467-45-3411
FAX	0467-44-7517
E-mail	info@rsec.co.jp



祝 千葉県非破壊検査研究会 40 周年  
おめでとうございます。

探傷するすべての人のニーズに応えたい。  
社会の安全・安心・快適をサポートする  
ソリューションカンパニー

**RYOSHO**

いままでも  
これからも  
Since 1949



昭和 25 年日本製銅納入品

デジタル超音波探傷器 UIシリーズ



超音波探触子





株式会社ダンテック

会員名又は連絡担当者	関東支社 副支社長 高橋厚志
住所	千葉市中央区南町3-2-1 青木ビル2F
電話番号	043-263-9935
FAX	043-265-8725
E-mail	a.takahashi@dantec.co.jp
URL	<a href="https://www.dantec.co.jp">https://www.dantec.co.jp</a>

本社(大阪)  
 関西支社  
 関東支社  
 中部支社  
 姫路、津、徳島

非破壊検査全般、ガスホルダーの供用中検査と CBM 評価、橋梁における超音波自動探傷試験等  
 CIW-A 種認定会社、各種 NDI、WES、HPI、高圧ガス製造保安責任者等の資格者多数



想像から創造へ 今感動の技術

DANTEC

日鉄テクノロジー株式会社

会員名又は連絡担当者	技術・品質管理部 NDI 技術室 専門主幹 小松 伸行
住所	千葉県君津市君津 1 番地 日本製鉄(株)構内
電話番号	0439-50-8075
FAX	0439-50-8076
E-mail	komatsu.y6g.nobuyuki@jp.nipponsteel.com
URL	<a href="https://www.nstec.nipponsteel.com/">https://www.nstec.nipponsteel.com/</a>

弊社は、日本製鉄グループの一員として日本製鉄の試験・分析および研究開発支援を担い、技術で日本製鉄グループを支えています。そして製鉄分野で培った技術と最先端の機器を活用し、「材料評価・分析」、「研究・開発支援」、「環境・省エネルギー」、「計測・検査」等のソリューションを、様々な分野のお客様にご提供しております。弊社は、人と技術、そしてお客様の信頼を何よりも大切にし、優れたソリューションの提供を通じて、これからもお客様と共に社会の発展に貢献してまいります。

主に日本製鉄の製鉄所に隣接して、北海道から九州に渡って拠点があります。千葉県内の拠点としては、東日本製鉄所 君津地区の構内にあります。

非破壊試験の分野では、一般的な RT、UT、MT、PT、ET に加えて、TOFD、フェーズドアレイ UT、オンサイト蛍光エックス線成分分析、コンクリート塩分測定(簡易式蛍光エックス線分析による)コンクリート内鉄筋腐食調査(分極抵抗測定+数値解析)などを実施しています。

## 日鉄ボルテン株式会社

会員名又は連絡担当者	品質技術部(兼)営業部東京営業所 高浦弘至
住所	千代田区内神田 2-5-5 ラウド`知ス大手町北ビル9階
電話番号	03-6384-0325
FAX	03-3257-9660
E-mail	h.takaura@bolten.co.jp
URL	http://www.bolten.co.jp/



ボルトはいったん締結してしまうと軸力を検出するのが困難です。超音波を代表とする非破壊検査による軸力検出技術がさらに発展し、どなたでも簡易に軸力を検出できるようになれば、大きなイノベーションとなります。

弊社は土木建築用の高力ボルトを主力製品としております。非破壊検査技術に長けた皆様とコラボレーションし、新しい未来に一步を踏み出せたら幸いと思います。



トルシア形高力ボルト (S10T)



トルシア形超高力ボルト (SHTB)



## ポニー工業株式会社

会員名又は連絡担当者	京葉営業所 平野涼輔
住所	千葉県千葉市中央区今井 3-22-18
電話番号	043-305-0012
FAX	043-305-0030
E-mail	r.hirano@ponyindustry.co.jp
URL	https://www.ponyindustry.co.jp

1965年にポニー工業は非破壊検査株式会社の放射線防護部門から独立し、発足しました。

誕生から今日に至るまで、放射線関連製品を主軸に、超音波・渦電流・磁気など、あらゆる非破壊検査技術を駆使してお客様のニーズにあった検査・計測機器の開発・製造・販売に携わってきました。

非破壊検査の業務を通じて、社会に安全・安心をお届けします。